



教育目標  
 明るく思いやりのある子(きよく)  
 進んで学ぶ子(かしこく)  
 健康でねばり強い子(たくましく)

## 地震・津波避難訓練

去る11月18日(金)に「いつ発生するか分からない地震や津波に備えて、いつ、どんな場所においても、自分の身を守るためには、どのような行動を取れば良いのかを考え、安全に避難することができるように避難の方法を確認し、訓練する」ことをねらいとして、地震・津波避難訓練を実施しました。

事前学習で地震発生時における正しい避難行動の確認を行い、11月18日に地震・津波避難訓練を実施することを全児童には知らされていましたが、何校時に行なわれるのかは、知らせていませんでした。2校時が終了し、休み時間の途中に突然「訓練です。緊急地震速報が出ています。児童の皆さんは直ちに避難してください。」という放送と同時に、訓練が開始されました。それぞれが、休み時間を過ごしており、中庭にいる児童、図書館にいる児童・それぞれが、自分の判断で、頭をしっかりと守りながら避難姿勢を保っています。地震の音が流れること3分間。次に津波の危険を知らせる放送が流れると、全員が運動場に避難しました。

一連の避難の様子を金武消防署の4名の署員の皆さんが観察してくれました。その後、本校の避難の様子を講評をしてくださいました。

自分の体を守る行動を真剣にとれたこと、避難場所に移動する際、笑ったり、ふざけたりすることがなく、真剣に取り組んでいたことがとても良かったと、お褒めの言葉をいただきました。そして、避難の際は、「お・か・し・も・ち(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかづかない)」をしっかりと守って行動してほしいこと、今日の地震・津波避難訓練のことをお家に帰ったら、家族に話してほしいとお話していました。

11月22日に福島沖地震が発生し、福島、茨城、栃木で震度5弱、その後、仙台市宮城野区の仙台港では東日本大震災以降で最大となる140センチの津波を観測され、青森県から千葉県にかけての沿岸部では約1万人が高台などに避難しました。沖縄でもいつ地震が発生するのか、わかりません。身を守るためにぜひ、ご家庭でも地震・津波や災害に対する避難のありかたをお話し合いしてみてください。



写真1 地震から身を守ろうと机の下に避難



写真2 中庭で避難する幼児・児童



写真3 津波のため運動場へ非難



写真4 消防署隊員の講評を聞き入る児童

### いのちをまもる

2年 なかま 一と

きょうの2校時のやすみ時間にじしん・つなみのひなんくんれんがありました。  
 「くんれんです。じしんです。」というほうそうがながれると、いそいでつくえの下にもぐりこんで、じしんの音のほうそうがおわるまで、しっかりつくえのあしをつかまえていました。  
 「じしんによる、つなみがあります。」と、いうほうそうがながれたので、頭を本でかくして、うんどうじょうにいそぎました。うんどうじょうには、しょうぼうしょの方がいました。しょうぼうしょの方が、じしん・つなみがおこったときのひなんのやりかたを教えてくださいました。

ぼくは、じしんがおこったら、いのちをまもるため、「お・か・し・も・ち」をまもりたいです。